

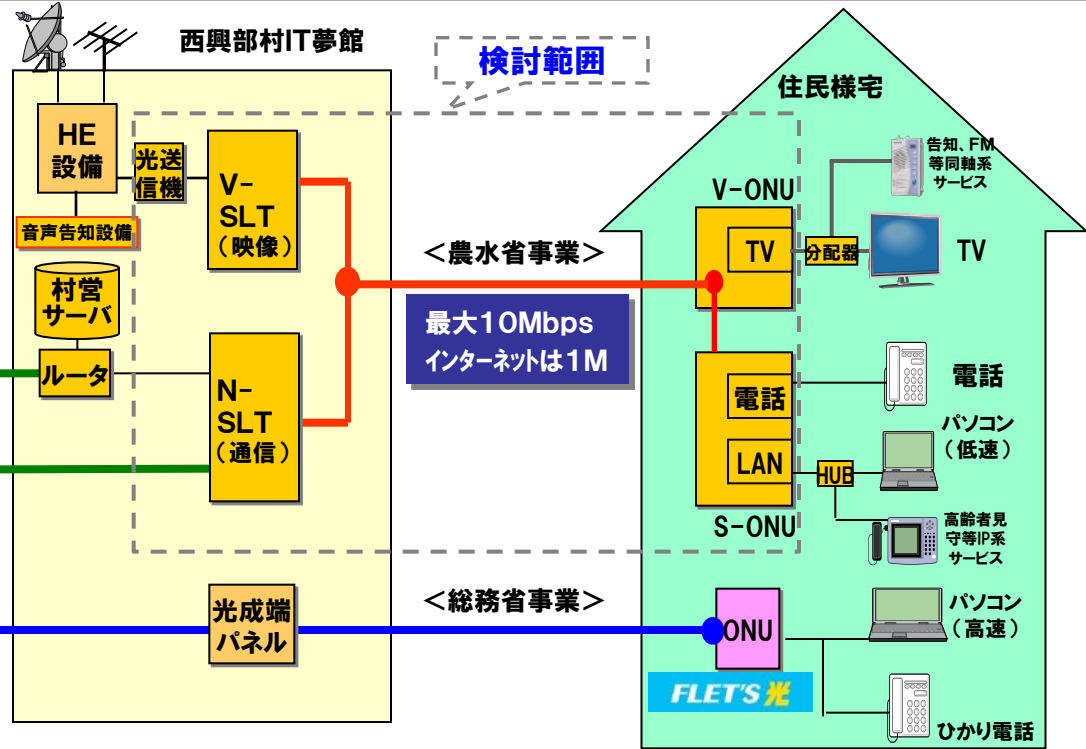
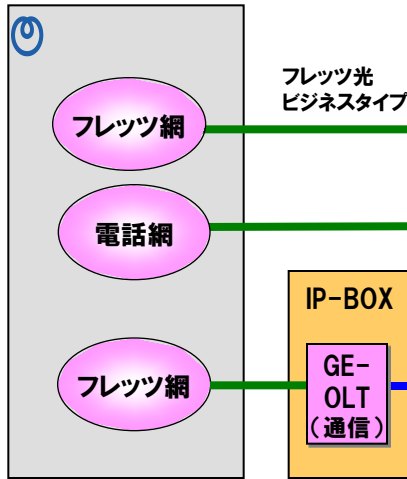
1. 現状と課題

- ◆SLT、HE、ONU、住民宅までの光ケーブルは村が整備、それ以外はNTTが整備
- ◆村資産の各種装置のメーカーによる生産終了により保守限界を迎え、村として今後設備更改が必要

- ・SLT: 映像・通信の終端装置でONUと対向で設置
- ・HE: TV電波変調・送信装置

- 村資産
- NTT資産
- 村の光ケーブル(H14)
- 村の光ケーブル(H22IRU)
- NTT東日本の光ケーブル

NTT東日本 西興部局



<農水省事業>
最大10Mbps
インターネットは1M

<総務省事業>

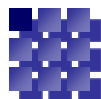
- (料金)
- ・NTT提供分
電話: 950円(旧2級局扱い)
 - ・村提供分
TV: 1,000円 (545加入)
インターネット: 無料 (ただし1M)

- (主なアプリケーションサービス)
- ・音声告知放送サービス: 545加入
 - ・牛舎遠隔監視サービス: 2加入
 - ・高齢者見守りサービス: 64加入

- (参考)
- ・人口: 1,137人
 - ・世帯数: 657世帯
 - (平成24年3月31日現在)

西興部村ブロードバンド加入促進補助金
(フレッツ光加入者への村からの補助金)

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
補助金	3,828円	3,828円	3,000円	2,000円	2,000円



2. 予備機数量の現状について

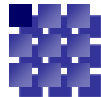
1. 宅内、屋外物品

物品名	用途	在庫数	購入可否	サービス維持可能期間 (推定)
S-ONU (フルセット)	電話、INS64	7台	不可	1年～2年
V-ONU (フルセット)	映像・TV	14台	60台可能	2年～3年
集合ONU(π)	電話、専用線	屋外用2台、屋内用2台	不可	2年～3年

2. IT夢館内物品

物品名	用途	在庫数	購入可否	サービス維持可能期間 (推定)
N-SLT用PKG	電話、INS64	PKG(11種類)を 各1～2枚保有	不可	3年～4年
V-SLT用PKG	映像・TV	PKG(9種類)を各1枚保有	不可	3年～4年

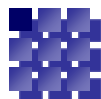
注:在庫数は2011.11調査数量



3.整備事業における村とNTT東日本との関係<契約形態>

- <農水省事業> 村は電話役務等の一部についてNTT東日本へ委託契約し、村民へ電話サービスを提供。
 - <総務省事業> 村が構築した設備(既存・新規)をNTT東日本へ貸し(IRU契約)、フレッツ光サービスを提供。
- 上記に係わる設備保守を村から、ベンダー及びNTT東日本へ委託。





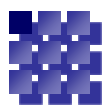
4. 設備の更改案

村の各種設備の更改は大きく2案あり、その概要を下記に示します。

案1: 農水省整備事業の村内光ファイバを活用する方式

案2: 総務省整備事業のIRU用光ファイバを増設(ブロードバンド化を全世帯に推進)する方式

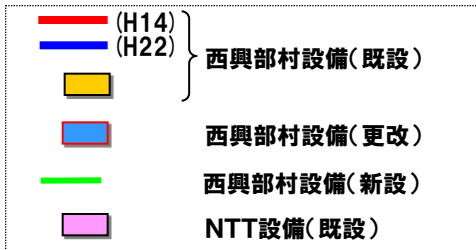
		案1	案2
概要	概要	農水省事業(平成14年度)の村内光ファイバを最大限活用する方式	総務省事業(平成22年度)のIRU用光ファイバと同様、ブロードバンド化を全世帯に推進する方式
	IT夢館	設備更改	設備更改
	ケーブル	既存設備利用	既存設備利用+IRUケーブルの増設
	宅内	装置更改	装置更改
村	概算コスト	1.8億円 地デジ送信設備、宅内機器の整備等は必要となるが、線路設備は既設光ファイバを活用可	3.1億円 左記に加え、全住民(電話利用者全員)分のIRU用光ファイバが必要であるため追加敷設が必要
住民	サービス	インターネットはフレッツ光への加入により、高速な環境で利用可能。その他は現状と変わらず利用可能	インターネットはフレッツ光への加入により、高速な環境で利用可能。 牛舎監視・見守り等の村営サービスの利用も可能
	料金	別途	「フレッツ光」+「ひかり電話」使用料



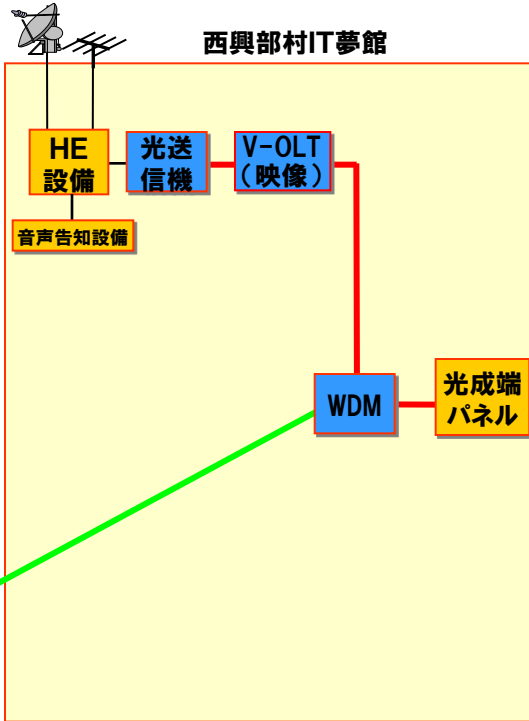
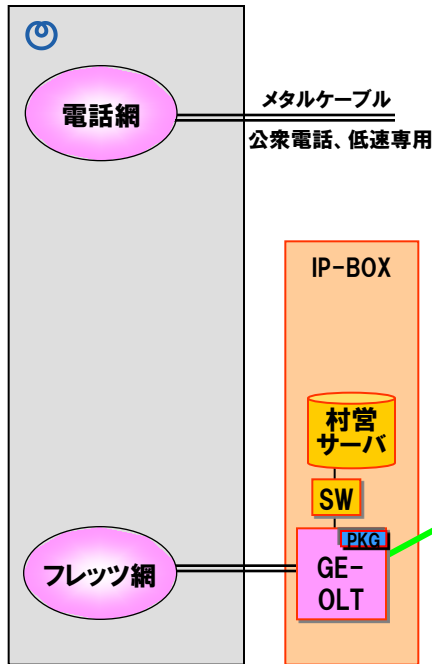
5. 案1: 農水省整備事業の村内光ファイバを活用する方式 1/2

1. NTT東日本サービス、フレッツ光への移行を希望しない場合

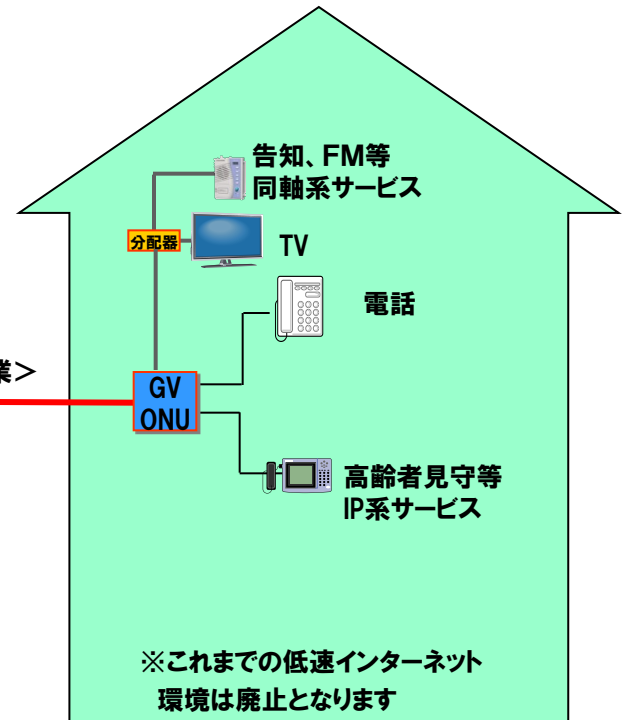
◆ 農水省光ケーブルを活用し、各世帯へ光ファイバ1芯で「電話」+「地デジ」+「村営サービス」を提供

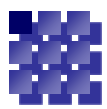


NTT東日本 西興部局



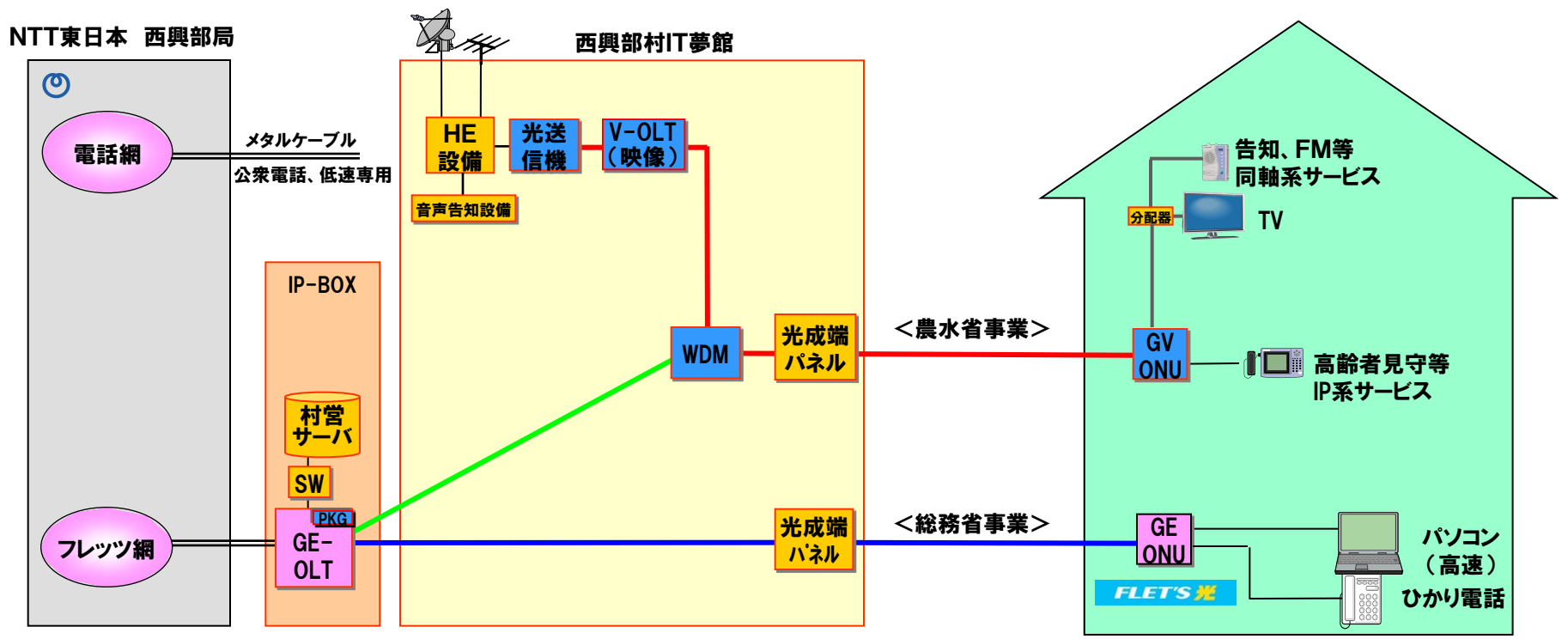
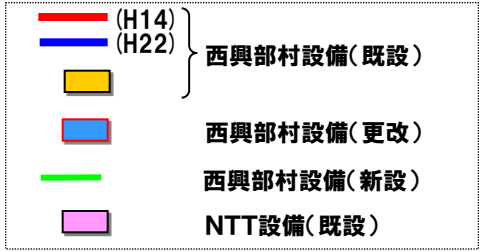
フレッツ光 非希望者宅





6. 案1: 農水省整備事業の村内光ファイバを活用する方式 2/2

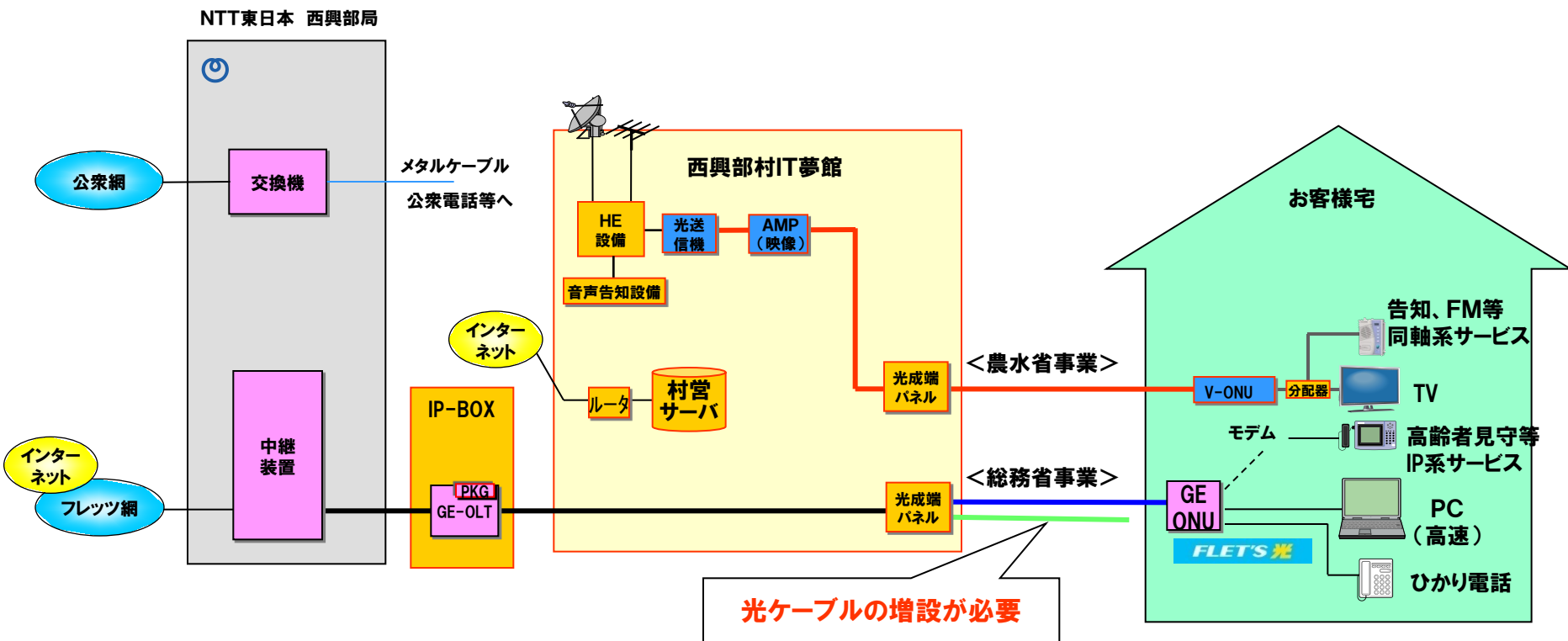
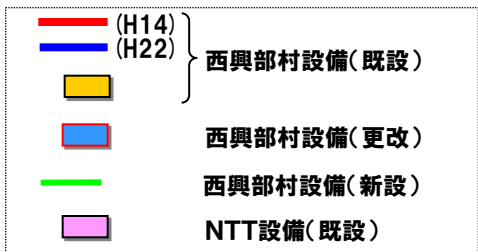
2. NTT東日本サービス、フレッツ光へ新たに加入する場合(1M廃止のため、インターネット利用するため)



6. 案2: 総務省整備事業のIRU用光ファイバを増設する方式

◆ 農水省光ケーブルでは、「地デジ」+「音声告知」を提供

◆ 総務省光ケーブル+光ケーブル増設では、「電話」+「インターネット」+「高齢者見守り等IP系村営サービス」を提供





7. 結論

案1とする。

理由

(1)光ケーブル・・・既存光ケーブルを利用出来る。

(2)サービス・・・インターネットはフレッツ光への加入により、高速な環境で利用可能。

その他は現状と変わらず利用可能。

(3)宅内装置・・・更改は必須。

(4)コスト・・・案2より低コスト



8. 課題と確認事項

■今後のスケジュール

契約満了となる平成26年2月までに、設備更改および契約内容の変更

■課題

- ①住民向け電話サービスの月額利用料金の設定
- ②村とNTT東日本との契約形態(IRU契約、業務委託契約、電気通信卸役務契約)

■確認事項

- ①平成25年度事業の意思決定および予算化時期
- ②村営サービスの今後の事業継続について
 - ・低速インターネットの高速化(フレッツ光)
 - ・牛舎遠隔監視サービス
 - ・緊急通報装置
 - ・高齢者見守りサービス
 - ・VOD